

一生自分の歯で食べられる社会を目指して・・・

NPO
Oral Health Network

お口の健康ネットワーク 会報

Oral Health Network Newsletter No.24. 2015. 4. 10



小児のう蝕予防と成人の歯周病予防

朝日大学 歯学部 教授
磯崎 篤則

私は、社会歯科学分野（旧口腔衛生）の助手で入局し、1984 年頃フッ化物洗口を中心としたフィールド研究をしていました。当時、集団でフッ化物洗口を実施している人数は、全国でやっと 10 万人を超える程度でした。フッ化物洗口を行えば高いう蝕予防効果が得られるとの報告が、新潟、神奈川、岐阜から発信され、日本口腔衛生学会でも多く、フィールド研究として論文が掲載されました。その頃の集団でフッ化物洗口を実施している人数の増加は、2 年毎に 2 万人程度でした（図 1）。2000 年に健康日本 21 が厚生労働省から示され、これには、生活習慣病に対して EBM のある方法を導入し、21 世紀における国民の健康目標値が掲げられました。12 歳児の DMFT index 1 以下もその 1 つです。2003 年 7 月には、厚生労働省科学研究費で行われていたフッ化物の総合研究の成果の 1 つとして、「フッ化物洗口ガイドライン」が出され、これを厚生労働省は、各都道府県に

通知しました。このようなことから、集団でフッ化物洗口を実施する人数の増加は、2 年間に 10 万人に及ぶようになりました。そして、多くの人がフッ化物洗口を実施した各都道府県では、都道府県別 12 歳児の DMFT index（学校保健統計調査）の減少がみられるようになりました。日本で最も 3 歳児のう蝕が多かった県が、フッ化物洗口を取り入れることにより、12 歳児での DMFT index が全国の中位くらいに位置し、2014 年には、う蝕の少ないベスト 10 入りを遂げています。その結果、ここ 2～3 年は、集団でフッ化物洗口を実施する人数も 2 年間で 15 万人増加し、ついに 2014 年には、私がフィールド研究を始めた頃の 10 倍、100 万人を突破するに至りました。実に、フッ化物洗口は、基礎研究に始まり、国からの資金援助も受け、フィールド研究の長期継続から 30 年を経て小児のう蝕予防法として、結実したものと思います。

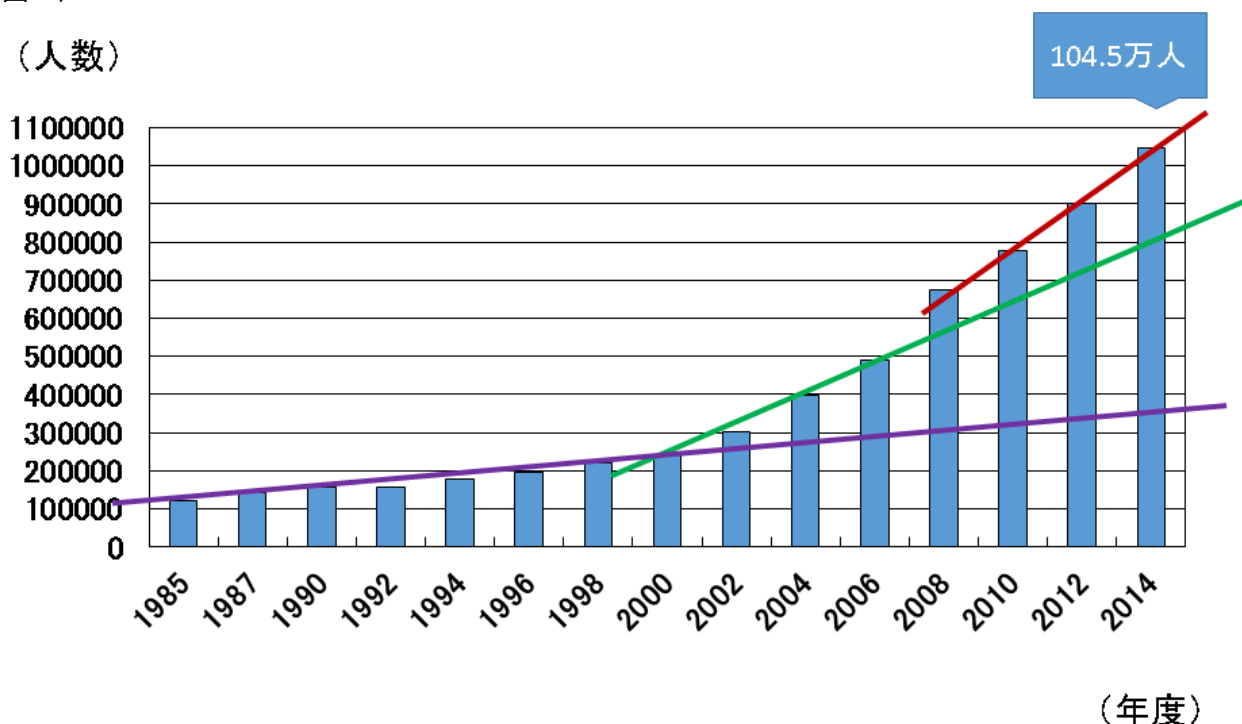
さて、現在私は、岡山大学の渡邊名誉教授に

御縁を頂き「つまようじ法」を用いた、歯周病コントロールへのアプローチに参加しています。今は、渡邊先生に岐阜まで来て頂き、朝日大学村上記念病院の糖尿病患者さんに「つまようじ法」を実施し、その成果を少しずつではありますが積み上げています。

私は、う蝕予防に関しては公衆衛生的な手法を取り入れれば、どの地域においてもそれなりの成果を示すことができると確信しています。しかし、最近歯周病に関しては、公衆衛生的なアプローチにより、疾病コントロールが可能であるのか、また疾患の特異性からどの部分で評

価して結果とするのかなどの疑問が浮かんでくるようになりました。そして、対人サービスで成果が得られるとすれば、実施者へのテクニックの標準化を徹底することが必要と考えます。今まさに、NPO 法人お口の健康ネットワークでは、この問題を解決すべく、認定歯科衛生士に始まり、認定医療機関制度などが着手されています。1 人でも確かなテクニックを持った仲間を増やし、フッ化物洗口集団応用実施者と同じぐらいの対象者に、歯周病コントロールができる日がくることを期待しています。

(図 1)



集団によるフッ化物洗口実施人数の年次推移

(日本むし歯予防フッ素推進会議、2014年)

No.20

診療室訪問

医療法人 安田歯科



所在地: 徳島県阿波市大原 93-1

チェア: 7 台

スタッフ: Dr 3 名

DH 7 名、受付 1 名

診療時間: 9:00~12:30、14:30~18:30

休診日: 木・日・祝祭日

外来患者数: 1 日 50~60 名

マーケティングとマネジメントが治療を支える歯科医院

今回は徳島県の西部、人口 4 万人弱の阿波市で長年診療を続けて来られた安田勝裕先生にお話を伺いました。

術者磨きは、ほめ達！？

—— 駐車場が満車でとめるのに苦労しました。

混んでてすみません。でもそれは褒め言葉ですね。ほめると言えば、今度ほめ達検定（褒める達人の検定）を受けに行くんですよ。変わった歯医者でしょ。でも「ほめる」ということは単純そうで意外と難しい。治療の技術を磨くことよりも難しいのではないかとさえ思います。そういうことが経営上もとても重要だと考えています。

私は 23 年前にマーケティングリサーチをして開業しました。開業後もマネジメントとかマーケティングについていろいろと勉強してきました。治療とマネジメントとマーケティングのバランスが悪いと上手くいかないからです。開業地は決まっていたので、まずこの地区をリサーチしたところ、予防や歯周病の専門医がいませんでした。そこで、口腔外科出身だった私は歯周病の予防・治療に取り組むためブラッシングや PMTC 等の研修を受けたりして研鑽を積みました。ところがもう一つ患者さんが付いてこなかった。開業から 3 年程経った頃でしょうか、そんな時に徳島に黒瀬真由美先生が来られて講演を聞いたのがつまようじ法を採り入れるきっかけになりました。何は

ともあれ、患者さんがついてきてくれるのがこの方法の一番良いところだと思いますし、これ以外に患者さんのモチベーションを上げる方法があったら見に行きたいくらいですね。現在では当院なりにモディファイして、唾液腺マッサージを入れたり、含嗽で使用する水に POIC®ウォーターを使うなどの工夫もしていますが、つまようじ法の



術者磨きはメインですし、当院の文化になっています。術者磨き自体が「ほめ達」だと思うんですよ。患者さんを褒めて、自分でもやってもらう。スタッフも褒めて仕事してもらうと辞めずに長く勤めてくれますし、ほめ達の循環になります。そういう私も、休日はリフレクソロジーとかで癒してもらわないと駄目なんです（笑）。

メンテナンスに来ないとダメよ～ダメダメ！

昨年末に参加したマーケティングの講習会で、メンテナンスに来てもらうためのキャッチフレーズを作ろうというのがあったのですが、私が考えたのが「メンテナンスに来ないとダメよ～ダメ

ダメ!」。今流行りのネタですが、こんなのを書いたのは 50 人中私だけでした (笑)。歯科医といえども、こういうアンテナを張っておくことも大切なのではないのでしょうか。

—— 手作りのパンフレットや小冊子が豊富です。

小冊子は 10 種類くらいあります。各チェアのモニターでもパワーポイントの映像を流したりしていますが、最近スタッフにもパンフレットの制作に関わってもらっています。最近「安田歯科との上手な付き合い方」という冊子も刷り直しました。患者さんへの情報提示は大切な作業だと考えていますが、ちょっとパンフレットが多すぎてスタッフが配ってくれません (笑)。

—— 予約制でないのは珍しいと思いますが。

土曜日とメンテナンス、月 2 回の矯正日のみが予約です。近隣で予約フリーの歯科医院は 1 割に満たないようですが、当院の患者さんは予約フリーを支持される方が多く、長年このスタンスでやってきました。ニーズがあるにもかかわらず予約フリーの歯科医院が少ないからこそ、このスタイルを続ける意味があると思います。

二段構えのメンテナンス

メンテナンスは予約制ですが、当院では 2 タイプに分けています。クローバークラブの会員は 3 ヶ月毎のメンテナンスで予約してもらうのですが、3 ヶ月先の予定は分からないという方のために歯っぴークラブというものもあり、こちらは約 3 ヶ月経つ頃にハガキを出して、1~2 週間前に予約を取ってもらうという仕組みです。クローバークラブでは 90%以上リコール率があるのに対して、歯っぴークラブで予約・来院される方は半数ほどですが、3 ヶ月後に来なくても 6 ヶ月後にまた来てくれるケースもあります。土地柄や医院運営上のメリットもあり、このような二段構えのシ

ステムを採用しています。

患者さんへの問診も二段構えで、どこにでもある患者さんに書いてもらう問診と、カウンセリング用の問診を作っています。カウンセリングで先ほどの定期健診の希望なども聞いて、患者さんのニーズを把握するようにしています。ニーズを把握し、適切な情報提示を行い、患者さんに決めてもらうという流れですね。

歯科を通じて癒しの空間を

私は、歯科を通じて、全身が健康になり、みなさんを幸せにする癒しの空間を作りたいと考えています。院内に一步足を踏み入れた時の雰囲気も大切にしています。当然術者磨きも、癒しの雰囲気大きく貢献しています。cure より care の比率が高いほうが、患者さんはもちろん、私もスタッフもより元気になれると思います。新しいキャッチフレーズを思いつきました。「術者磨きが、歯科医院を癒しの雰囲気に変える。」



▲安田先生とスタッフの皆さん

安田 勝裕 (やすだ かつひろ)

昭和 58 年 徳島大学歯学部卒業
 昭和 58 年 徳島大学歯学部附属病院医員 第一口腔外科
 昭和 59 年 徳島大学歯学部助手 第一口腔外科
 平成 3 年 安田歯科開院

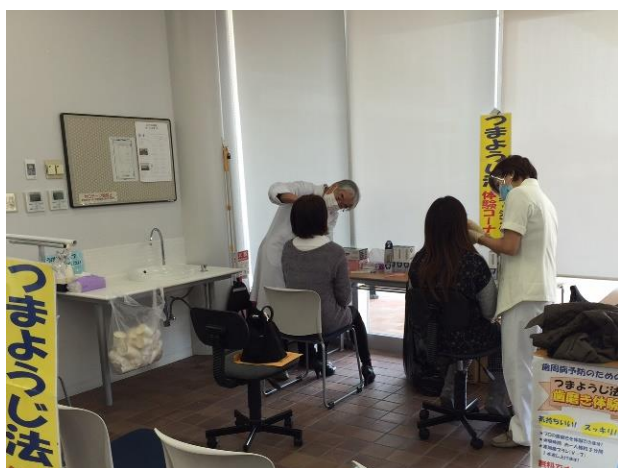
特定健診でのつまようじ法ブラッシング

日時:平成 27 年 2 月 1 日(日)、2 月 14 日(土)、2 月 23 日(月)、2 月 28 日(土)

会場:岡山市内 4 会場

ブラッシング実施者数:647 名

協会けんぽ岡山支部主催の特定健診受診者への無料オプションとして、希望者につまようじ法ブラッシングを行いました。各会場2~3名体制でブラッシングを行いました。受診者からは大変好評をいただくことができ、次年度以降の継続実施や、協会けんぽ様の他支部での実施に向けて今後活動していきたいと思っております。参加された方へのアンケート結果を次頁に掲載します。



第 13 回理事会

日時:平成 27 年 4 月 4 日(土) 19:00~21:00

会場:岡山国際交流センター

出席理事:14 名

議事録は近日中に会員サイトにアップします。

(<http://www.ohn-member.com>)

理事対象教育講演

日時:平成 27 年 4 月 5 日(日) 10:00~11:30

会場:岡山国際交流センター

出席理事:14 名

講師:渡邊達夫

9 月の認定医療機関制度発足に先駆けて、理事対象の教育講演を実施しました。



お口の健康ネットワーク研修会

「歯周病と糖尿病－UP DATE」

日時:平成 27 年 4 月 5 日(日)

会場:岡山国際交流センター

参加者数:70 名

◇座長

岡山大学医歯薬学総合研究科

森田 学

◇講師

九州大学歯学研究院口腔機能修復学講座歯周病学分野

西村 英紀 先生



「つまようじ法」体験ブラッシングのアンケート結果

目的 歯周病の予防において、ブラッシングの動機づけが成否のカギを握っている。その成否は受診者の評価によって左右される。今回、フィールドにおいてブラッシング体験会を行い、受診者の評価に関するアンケート調査を実施した。

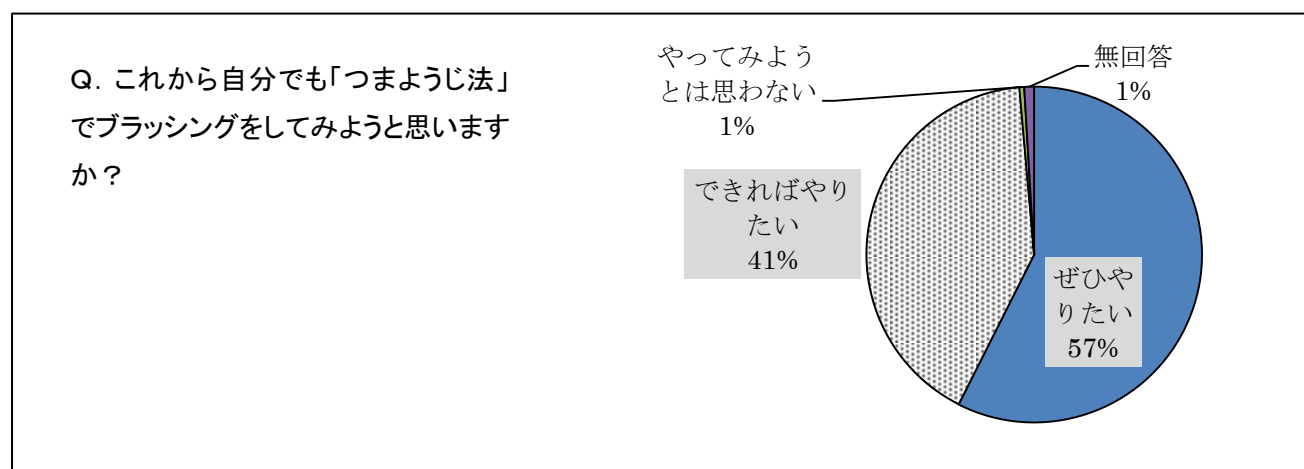
対象と方法 平成 27 年 2 月、協会けんぽ岡山支部主催の集団健診時に、無料オプションとして希望者に「つまようじ法」ブラッシングを行った。4 会場で行い、健診受診者合計 1137 人のうち、647 人(57%)にブラッシングを実施し、アンケートは 639 人から回収した。9 割以上が女性で、40 歳代が 48%、次いで 50 歳代の 40%、60 歳代が 10%だった。

結果 ブラッシング体験の満足度は 98%であった。一方「つまようじ法」の名前を知っている人は 28%だった。体験後、「つまようじ法」を自分でもやってみようとした人は 99%だった。「やってみようとは思わない」との回答は 3 人であり、ほとんどの人が「ぜひやりたい」又は「できればやりたい」と回答していた（下図参照）。

「つまようじ法」を再度体験したいと答えた人は 98%で、「体験したいと思わない」と回答した 10 人のうち 2 人はブラッシング体験の満足度が「大変満足」、6 人は「やや満足」、2 人が「やや不満」であった。やや不満とされた 2 人は自由記載欄に「説明がないのでよくわからない」、「痛い」と記入されていた。

自由記載欄に感想を記入した人は 434 人(68%)で、ほとんどが「つまようじ法」を肯定する感想であった。ブラッシング時に痛みを覚えた人は 240 人(38%)、歯肉出血があった人は 440 人(69%)であった。

まとめ 「つまようじ法」体験者のほぼ全員が自分自身でもやってみようと思ひ、再度体験したいと回答した。自由記載欄にも 2/3 以上が肯定的な感想を記載していた。このことから、参加者はこの事業を非常に好意的にとらえており、歯科保健指導の動機づけには有効な手段であると考えられる。



●今後の行事日程

H27年 月 日	内容	開催地	講師等	時間 (予定)
4/25 (土)	予防歯科臨床セミナー 2日コース	東京	黒瀬真由美 小畑 文也 山本龍生	14:00~19:00
4/26 (日)				9:00~15:00
6/7 (日)	予防歯科臨床セミナー 2回コース (1回目)	名古屋	黒瀬真由美 小畑 文也 山本龍生	10:00~16:00
6/28 (日)	予防歯科臨床セミナー 2回コース (2回目)			10:00~16:00
9/5 (土)	第14回理事会	福岡	—	17:00~19:00
9/6 (日)	認定歯科医療機関教育講演		渡邊達夫	9:30~11:30
	第7回通常総会		—	11:40~12:30
	お口の健康ネットワーク講演会 「口腔常在微生物叢の功罪~つまよう じ法と口腔常在微生物」(仮題)		鶴見大学歯学部口腔 微生物学講座 教授 前田伸子 先生	13:30~15:30
10/18 (日)	予防歯科臨床セミナー 2回コース (1回目)	東京	黒瀬真由美 小畑 文也 山本龍生	10:00~16:00
11/15 (日)	予防歯科臨床セミナー 2回コース (2回目)			10:00~16:00

●認定医療機関制度について

4月4日の理事会にて、認定医療機関制度について検討を行い、9月の総会にて承認後正式に発足する運びとなりました。詳細は後日ご案内いたしますが、認定の要件と費用は以下になります。第1回の教育講演(年1回開催予定)は上記日程の通り、今年9月6日に福岡にて開催いたします。

(認定医療機関の要件)

- ①会員歴 5年以上
- ②理事の推薦
- ③3年以内に訪問実習を受講済みであること
- ④5年以内に本会主催のセミナーを受講済みであること
- ⑤教育講演を受講し、認定試験に合格すること

(認定にかかる費用)

- ①認定医療機関申請 3,000円
- ②教育講演受講・筆記試験 20,000円

※教育講演受講後に①~④の要件を満たすことも可(新規・新入会員の方も受講できます)

(編集後記)

活動報告にて特定健診でのつまようじ法ブラッシング体験の実施概要とアンケート結果を掲載いたしました。定期的に歯科を受診している方が約4割と比較的多かったのですが、それでもブラッシングすると多くの方が出血します。1日に術者一人当たり60名以上をブラッシングした計算となり、術者は忙しかったのですが、つまようじ法普及の有効な手段だと感じました。

(事務局/草野栄路)

お口の健康ネットワーク会報 No. 24

2015年4月10日発行

発行：特定非営利活動法人お口の健康ネットワーク

〒700-0953 岡山市南区西市541-1

TEL. 086-244-4692 FAX. 086-244-1351

<http://www.oral-health-network.jp>

会員専用サイト：<http://www.ohn-member.com>

E-mail: info@oral-health-network.jp